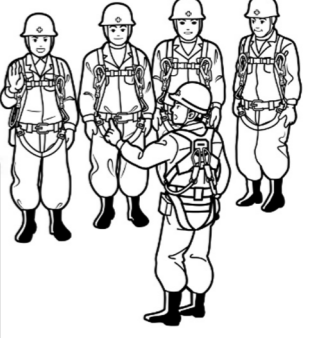
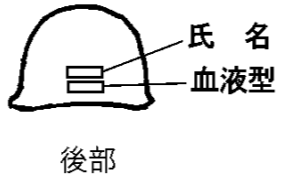





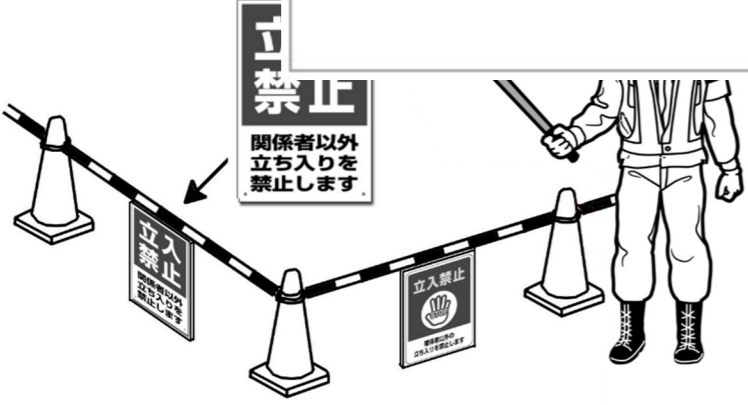
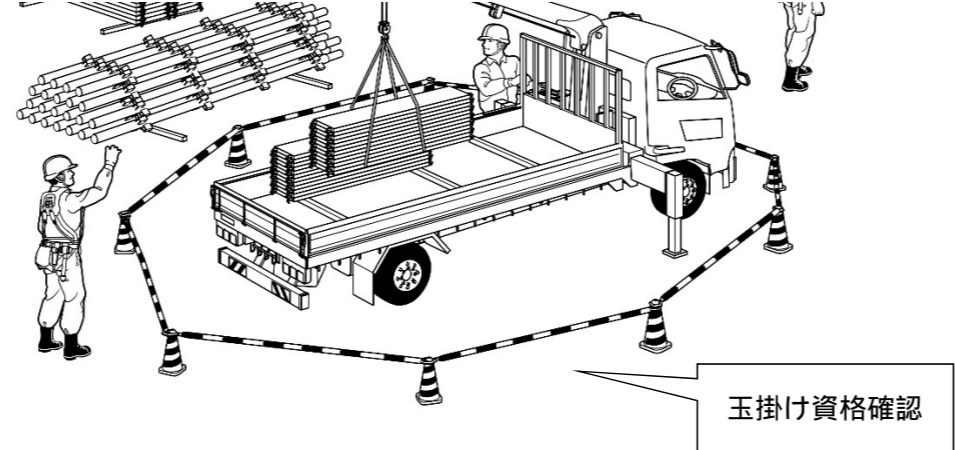
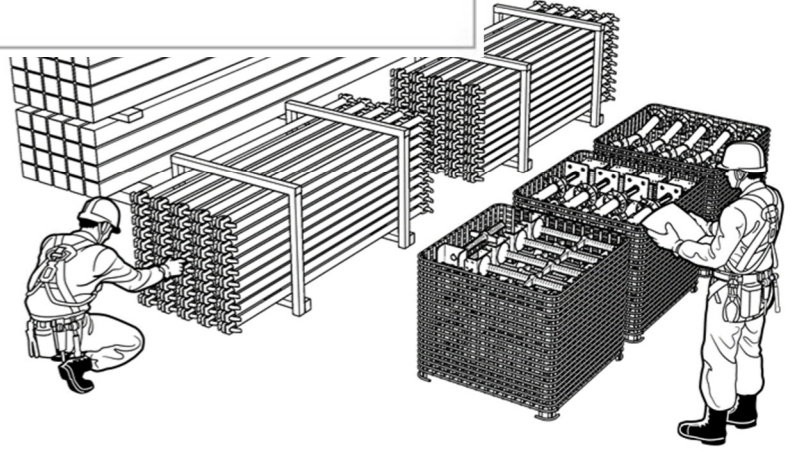
作業手順書	使用機材	くさび緊結式足場材・移動式クレーン( t )	必要な資格等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーン等運転(免許・技能講習・特別教育)</li> <li>・移動式クレーン免許</li> <li>・足場の組立等作業主任者</li> <li>・足場作業特別教育受講者</li> <li>・玉掛者(技能講習 1t 以上・特別教育 1t 未満)</li> <li>・合図者</li> <li>・監視人</li> </ul>
作業名	器具・工具類	ハンマー・ラジエット・玉掛ワイヤー 介錯ロープ・安全ブロック・滑車・その他( )		
会社名	保護具	保護帽、安全靴、保護手袋、フルハーネス型墜落制止用器具		
作業人員	安全設備	親綱、バリケード・カラーコーン・トラロープ		

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
・準備作業													
1. 朝礼に出席する	・ラジオ体操に参加						・体を十分にほぐす。	作業員					
	・朝礼での安全指示事項を把握する。						・危険箇所、立入禁止箇所等を把握	作業員					
2. 作業前のミーティング	・右姿冬装の確切な1. 適正配置を行う	・足場からの墜落					・作業主任者の指揮で作業する	職 長					
<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>													
	密に行つ。 ・足場作業は特別教育受講者が行う						を密にし、作業エリアを区別する。 ・作業主任者の氏名、職務内容を提示						
3. 高所作業の服装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あご紐はきちんと締める</li> <li>・墜落制止用器具は高所では常に肩かけ</li> <li>・免許証、講習修了証等を携帯する</li> <li>・袖口はしぼる</li> <li>・ズボンは裾の中に入れるか足カバーでしぼる</li> <li>・高所用安全靴を使用する</li> </ul>							作業員					



作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
・本作業													
1. 前作業	立入り禁止処置を行う ・組立場所をバリケード、ロープ等で立入り禁止処置を行う。	・関係者以外の立入り	3	4	7	2	・立入り禁止は分かりやすく設置する。	作業主任者	3	2	5	2	 <p>施工計画を確認する</p>
	施工計画書図を確認する。 ・施工計画図を確認する。 ・図面従い位置出しをする。							作業主任者					
	資材の搬入 ・組立の順番を考え搬入する。 ・玉掛は2点掛とし、ワイヤーは必ず絞って玉掛けする。 ・合図者は、ユニック車に適切に合図する。	・吊荷が、落ちる。 ・運搬中の転倒	6	4	10	4	・玉掛ワイヤーは、12mmの4mを使用する。 ・籠等も、絞って2点掛を行う。 ・足元を確認しながら運搬 ・アウトリガーの確実な張出し	玉掛者 玉掛者 作業者 運転者	6	2	8	3	

<https://www.sekouya.com>

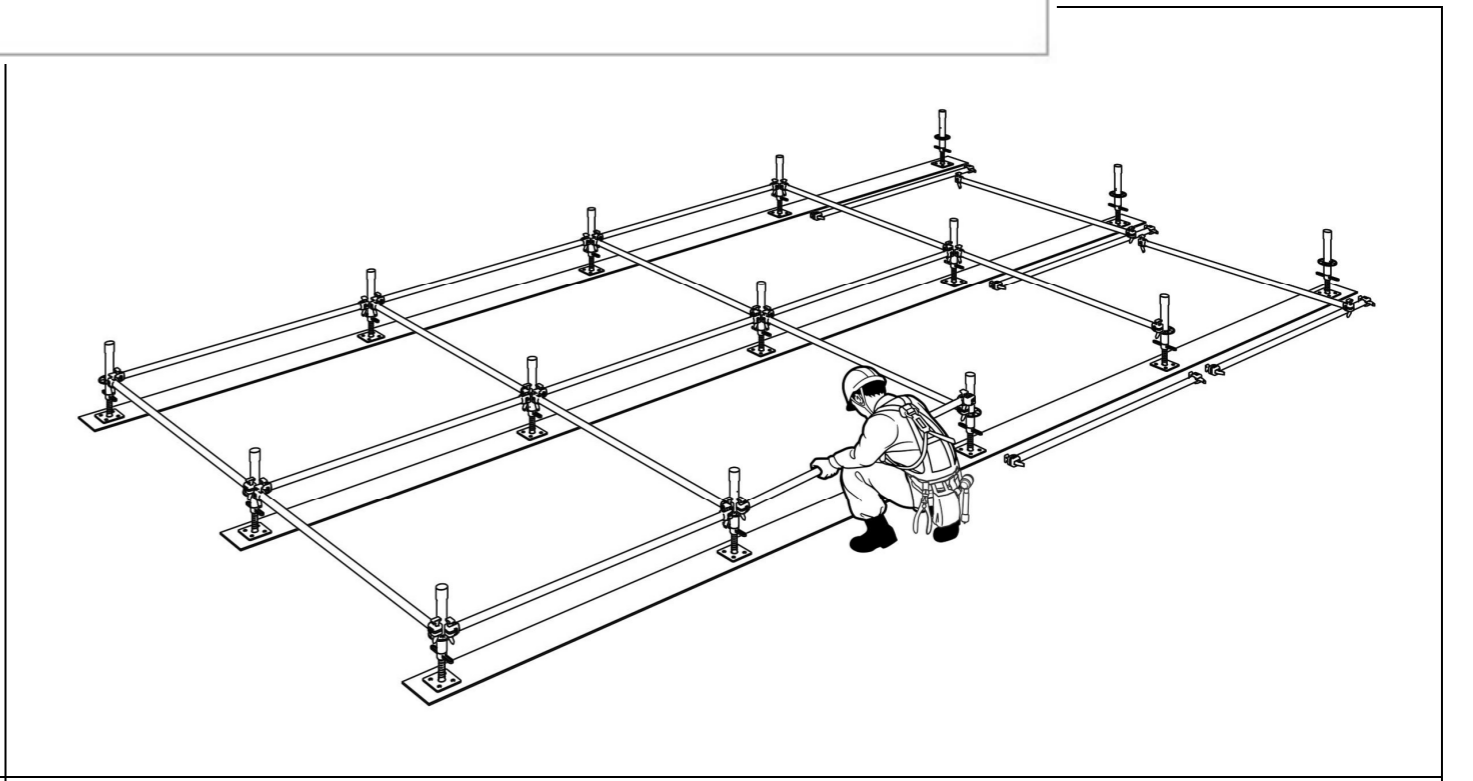
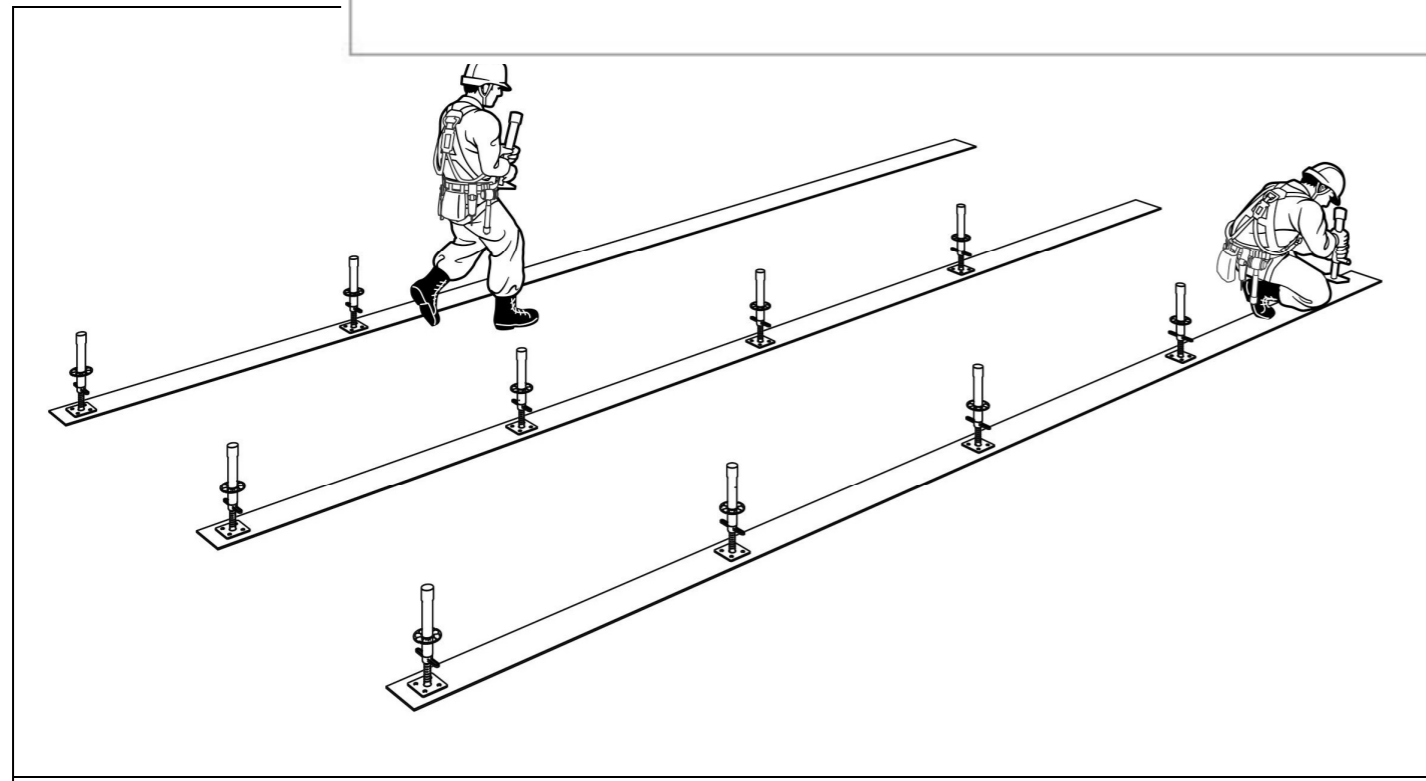
		
作業区域の立入禁止措置	足場材搬入	使用部材搬入及び数量確認

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
2. 地上1段目の組立 (列数分並行して行う)	敷板 ・地面上に敷板又は敷角を敷き並べる。 ・沈下しないように地盤を十分に突固め堅固にする。	・設置中、移動中の転倒	3	4	7	2	・不陸の整形と十分な締固め	作業者	3	2	5	2	
	ジャッキベースの配置。 ・墨の位置にジャッキベースを配置する。	・部材が人に当たる。	3	4	7	2	・部材は、絶対に投げない。 ・ベースは釘で確実に固定	作業者	3	2	5	2	
	ジャッキベースの高さの調整。			3	4	7	2	・ジャッキ型ベース金具は敷板等の	作業者	3	2	5	

<https://www.sekouya.com>



100mm以上  
差し込む

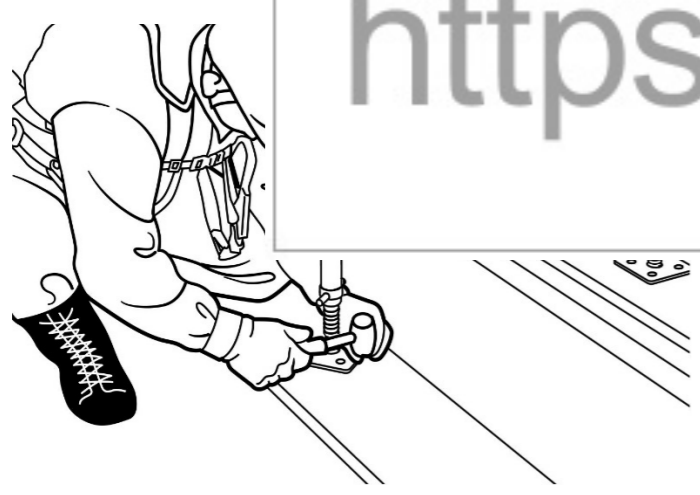

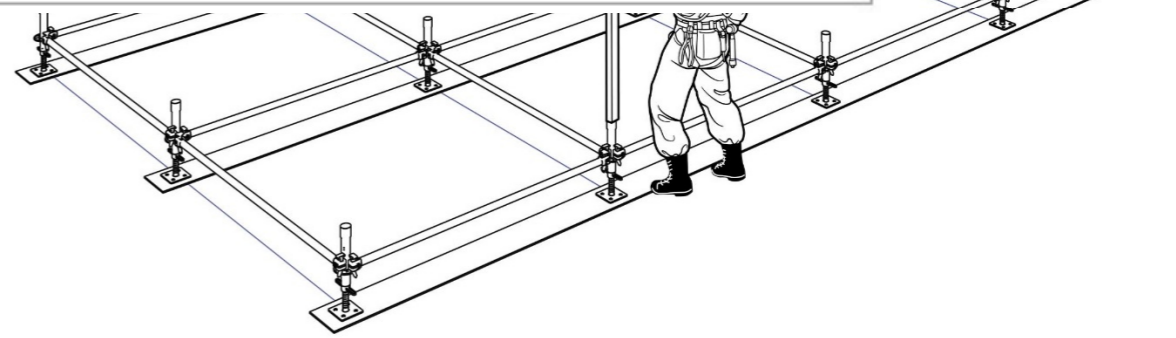


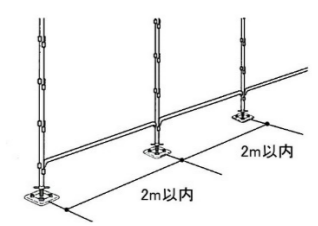
ジャッキベース墨出し、配置。 あらかじめジャッキの高さは調整しておく。

ベースカラー、根がらみ(水平)の取付け。 クサビは手で差し込むだけにしておく。

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
	根がらみを取り付ける。												
	高さの調整・確認。 ・レベルを使用し、水平材の高さを確認する。 ・ジャッキハンドルを、回し、調整する。	・設置中、移動中の転倒 ・手指のはさまれ	6	4	10	4		作業者 作業者	6	4	10	4	・レベルを倒したりしないよう取り扱い、慎重に行う ・斜面ではジャッキベースの下にキャンバーを入れ調整する。
	クサビの打ち込み。 ・クサビの頭を適確にハンマーで打ち込み、全箇所強固に固定する。	・ハンマーで、手を打つ。 ・手指のはさまれ	6	4	10	4	・手元の確認 ・ハンマーは最初は軽く、徐々に強く打ちこむ。	作業者 作業者	6	2	8	3	

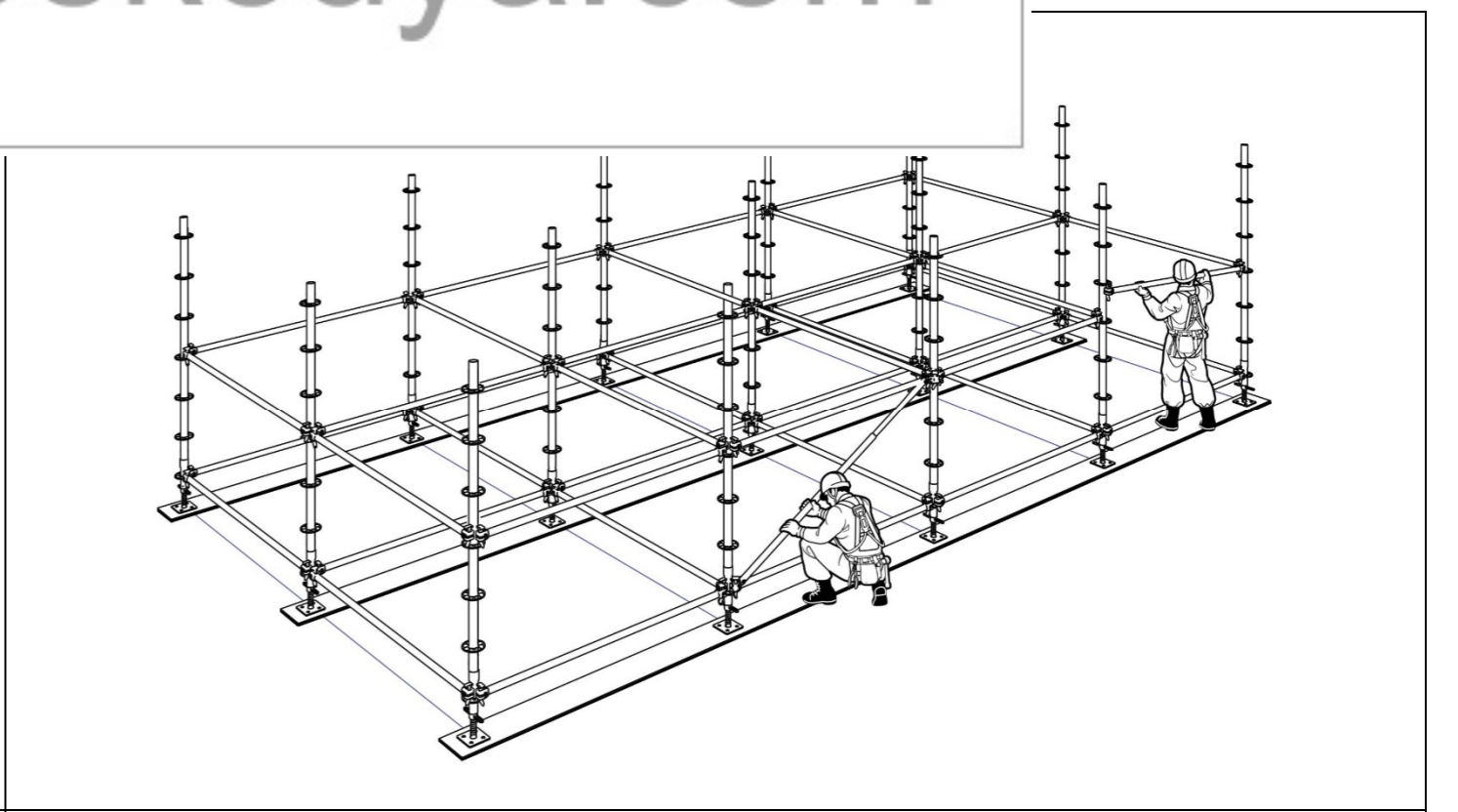
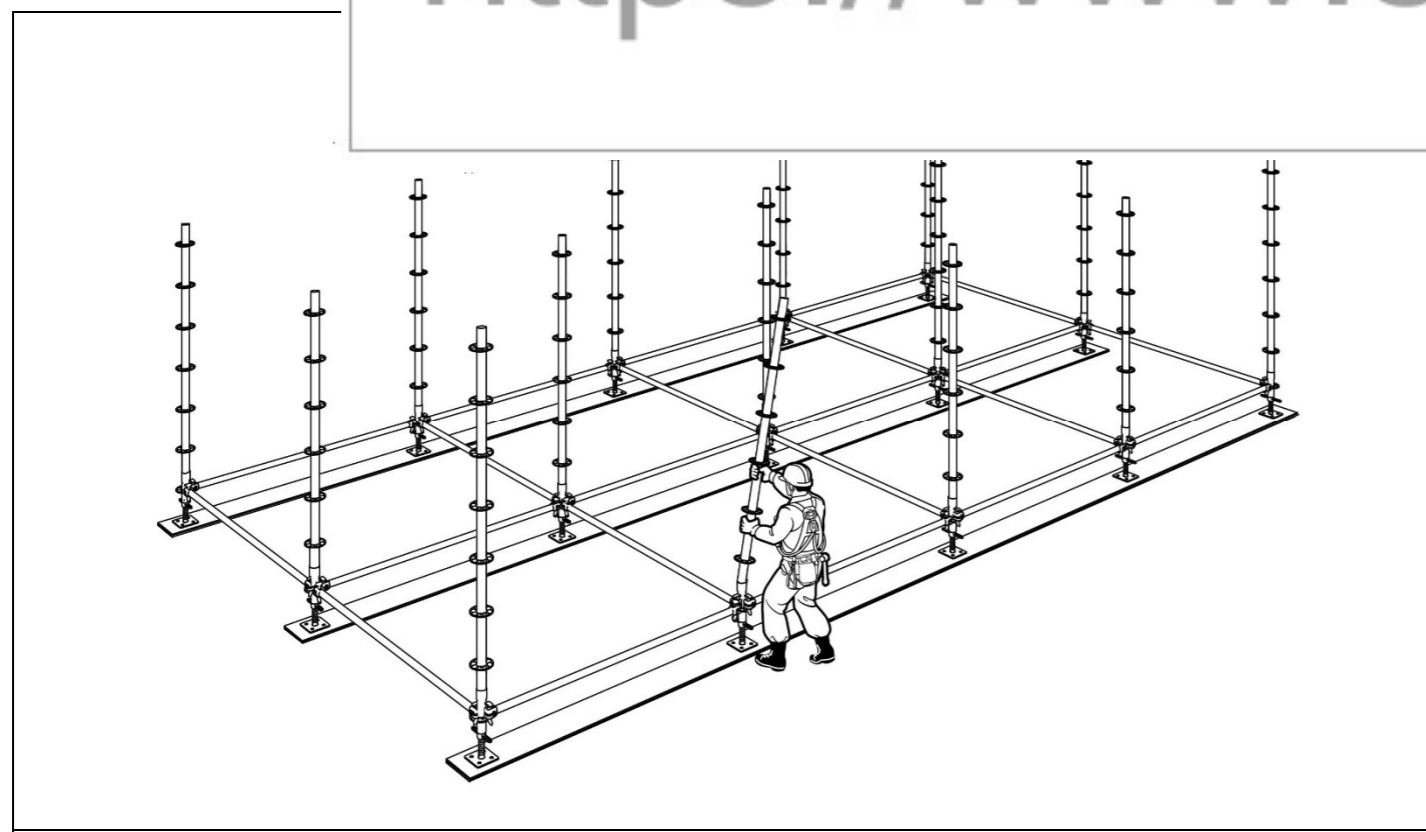
<https://www.sekouya.com>

		
ジャッキベース釘止め	レベルチェック	通りの修正及び確認、レベルの調整。

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
	支柱の取り付け ・柱にジャッキベースを刺し込み建てる。 ・建地の継手部が千鳥となるように建地を配置する。 ・建地の継手部は、専用のピンを差し込む等により抜け止めを確実にを行う。	・手、足を挟む。  ・転倒	6	4	10	4	・手元、足元の確認。  ・足下確認 ・クサビ受けの向きを同じ方向になるように設置する。	作業員  作業員	6	2	8	3	
	緊結部付布材の取付け ・地上第一段目の踏板は、2m以下に設置する。 ・クサビを上げて、フックを支柱のフランジの穴に入れ、クサビを、軽く仮止めする。	・つなぎ材と支柱の間に手を挟む。	3	4	7	2	・手元の確認。	作業員	3	2	5	2	
	腕木（緊結部付腕木）の取付け ・取付け位置は、布の取付け位置と同一レベルとする。	・手指のはさまれ	6	2	8	3		作業員	6	1	7	2	



交いの代わりにくさび緊結式足場斜材を設ける場合は、大筋交いと以上の効果を有するものを用い、の後踏み側に6層6スパン以下の毎に交差2方向に設ける。

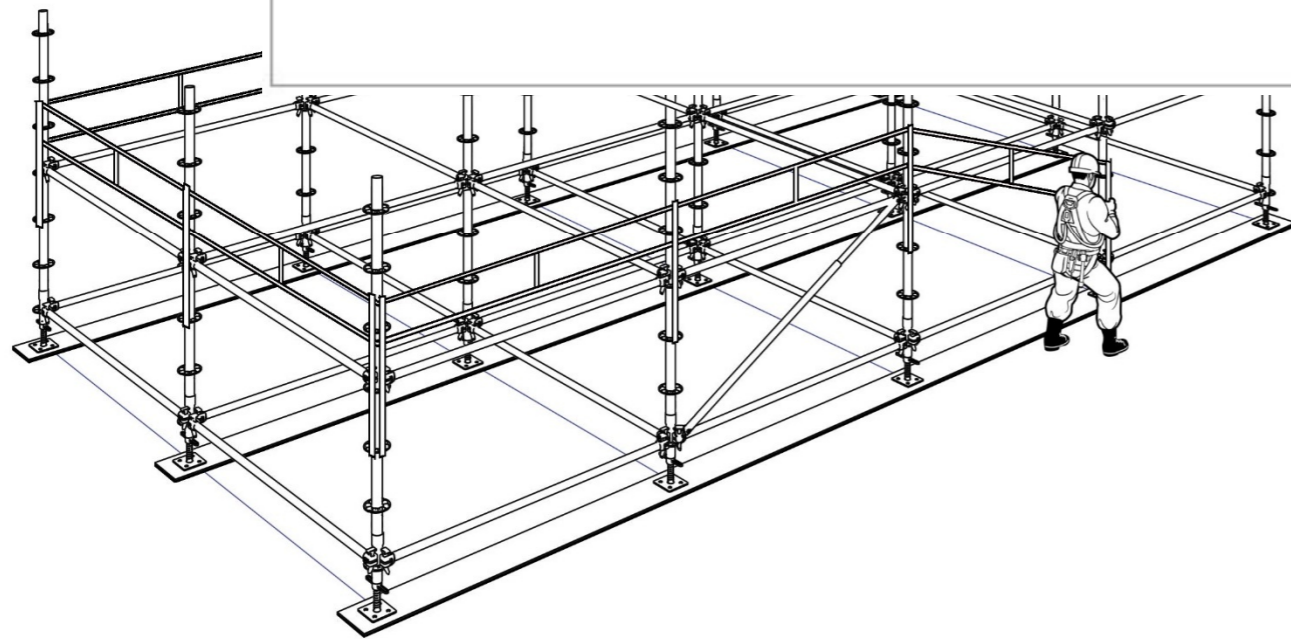


パーチカル（支柱）をベースカラーに差し込む。 根からみ(ホリゾンタル)のクサビ打込み。

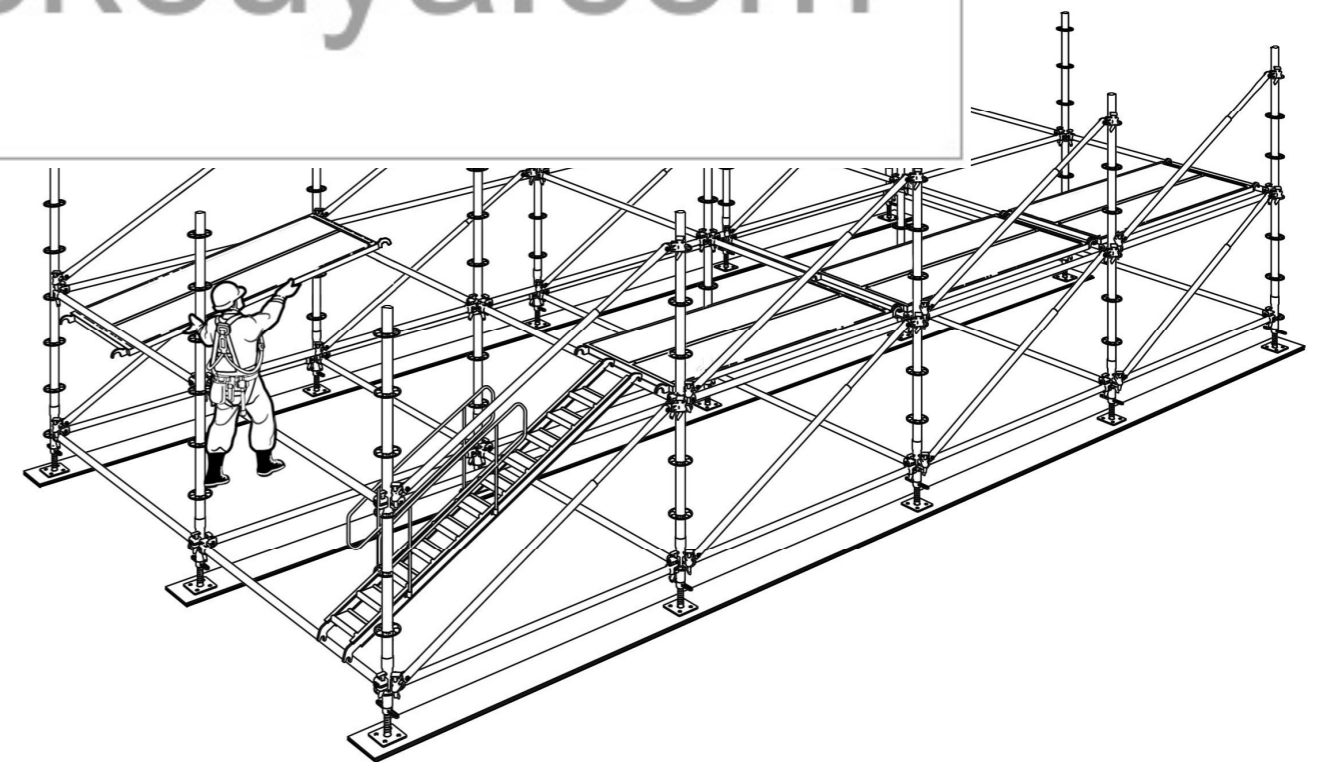
ホリゾンタル（布材）取付けくさびをハンマーで打ち込む。このとき打ち込みすぎに注意する。斜めブレースの取付け。

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
	地上第一段目の踏板の取付け ・段差のないように連続して踏板を設置する。 ・地上第一段目の踏板は、2m 以下に設置する。 ・幅 40cm 以上、隙間 3cm 以下	・取込み中の墜落 ・部材の落下	3	4	7	2	・墜落制止用器具使用	作業者	3	2	5	2	・建物（外壁）から足場までの隙間は、30cm 以下とする。 ・建地と踏板の隙間は 12cm 以下とする
	昇降階段の取り付け ・図面で、取付場所を、確認し取り付ける。 ・階段枠の上部フックは、水平つなぎ材に取り付け下部は、足場板に、固定する。	・取込み中の墜落 ・部材の落下 ・手、指を挟む。	3	4	7	2	・墜落制止用器具使用  ・手元の確認。	作業者  作業者	3	2	5	2	
	階段に沿って、階段手摺を設ける。	・墜落	3	4	7	2			3	2	5	2	・踊場は 2 層以下毎に設置する。 は踊場を設ける。

<https://www.sekouya.com>

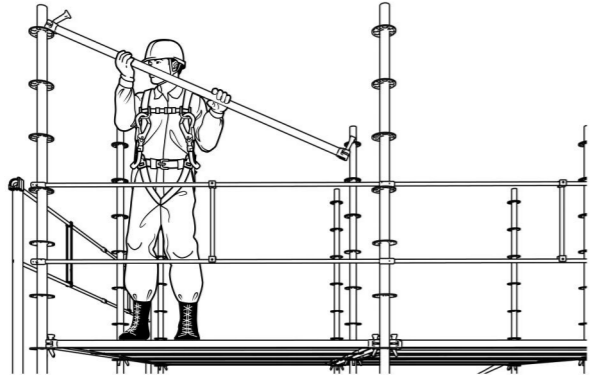
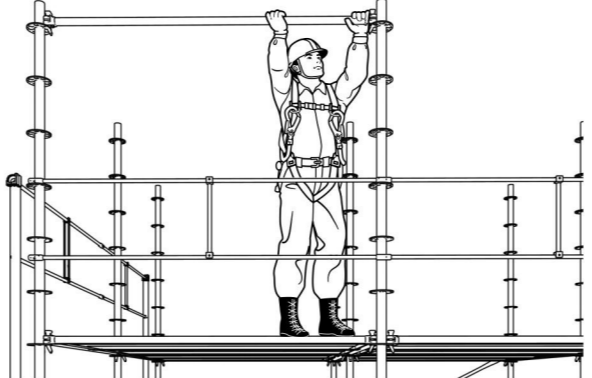
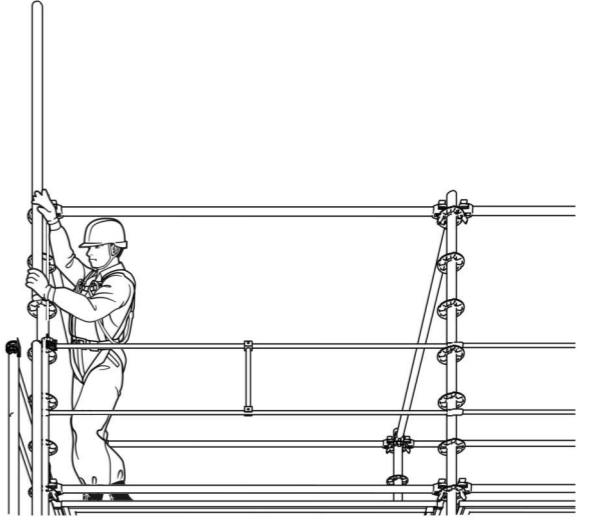

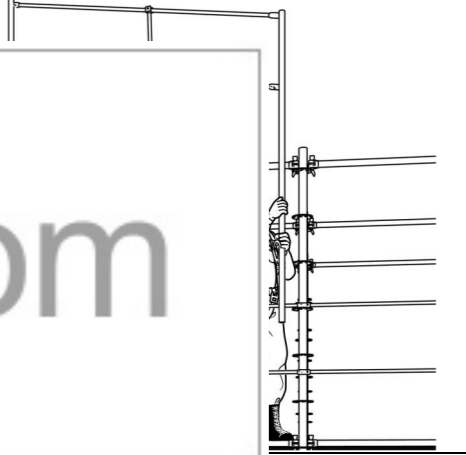
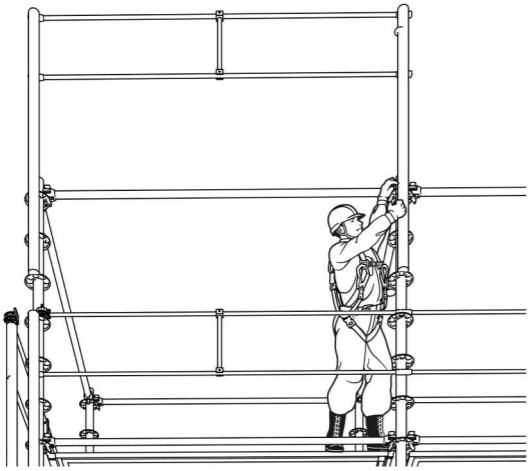
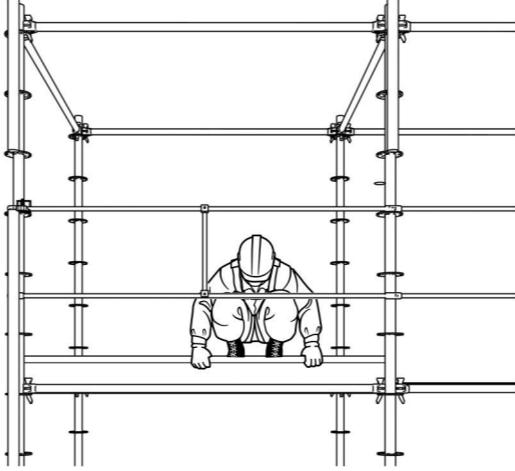
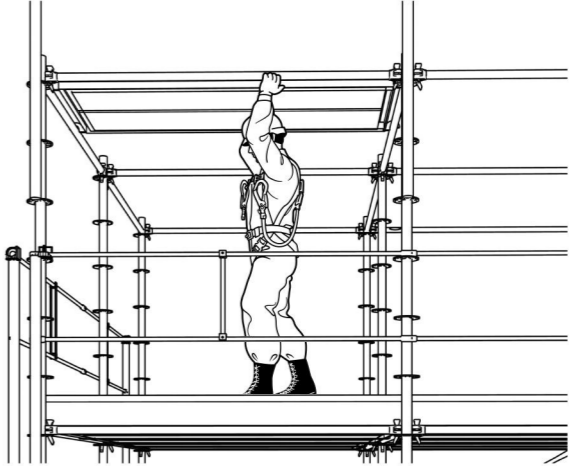


作業床レベルの外周に先行手すりの取付け。



踏板（シルクロード）階段の取付け。

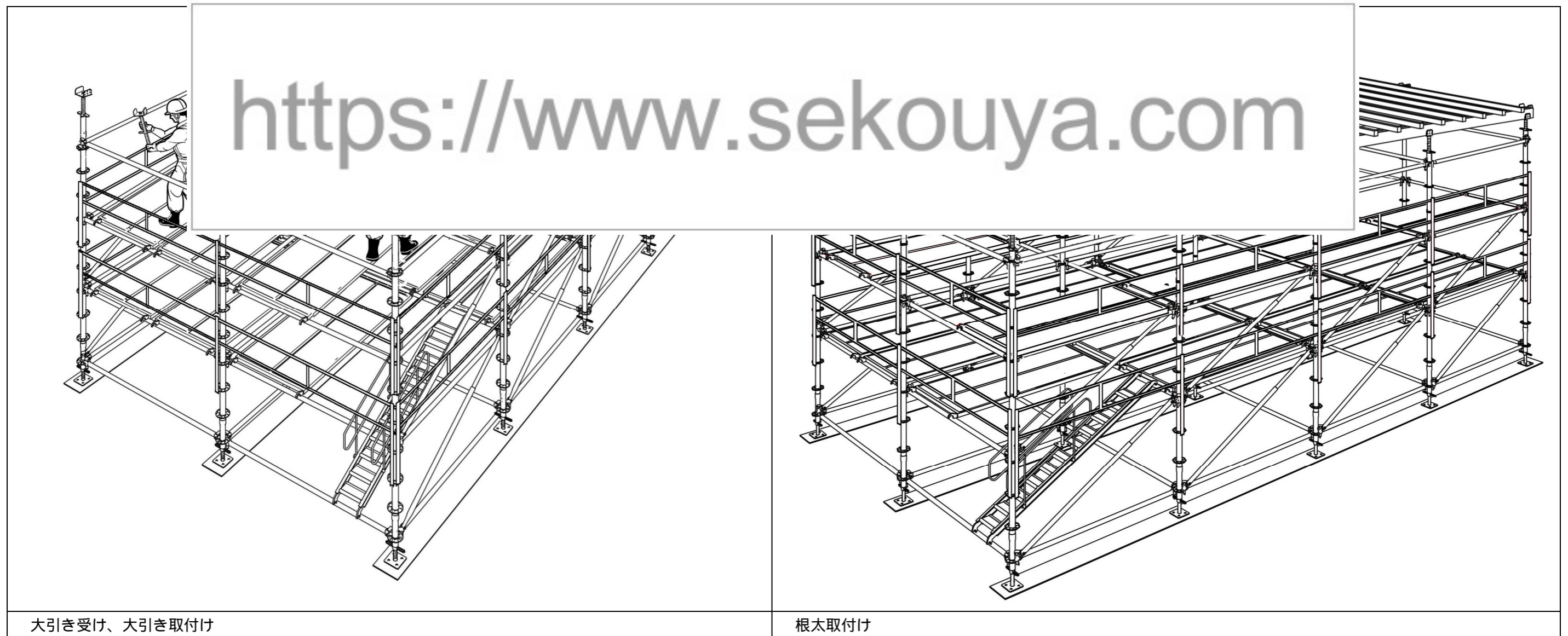
オクタゴン先行手すり取り付け手順

			
<p>パーティカルに水平のくさびを差し込む</p>	<p>水平（水平材）の取付</p>	<p>手すり支柱のパーティカルへの取付</p>	
			
<p>二段手すりを支柱に取付ける（約45°の用度にて）</p>	<p>七つ一方の手すり端部を支柱に取付ける</p>	<p>手すり取付け後、支柱上部を持ち上げる</p>	
			
<p>パーティカルフランジに取付ける</p>	<p>つま先板（幅木）を取付ける</p>	<p>上層部へ作業床（布板）取付けて完了</p>	



作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
3. 地上2段目の組立 (列数分並行して行う)	支柱を上方へ継ぎ足す。 ・2段目に上がり支柱を建てる。 ・親綱を取り付ける。	・取付け中の墜落	10	2	12	4	・足元の確認。 ・支柱等より、墜落制止用器具の使用。	作業者 作業者	10	1	11	4	
	緊結部付布材の取付け ・布の上下方向の間隔は、1.9m以下とする ・床付き布枠のつかみ金具は、外れ止めを完全にロックさせ、下面からの風の吹上げに対して外れないようにする。	・足場から落ちる。 ・床端、端部からの墜落 ・部材等の落下 ・身を乗り出し墜落	6	4	10	4	・足元の確認。  ・上層への移動は昇降階段を使用する。	作業者  作業者	6	2	8	3	・つかみ金具の外れ止めがさびついたり、つぶれたりしているときは、スムーズに作動しないことがあるので必ず外れ止めの状態を確認する。 ・作業床の幅40cm以上隙間3cm以下
	腕木(緊結部付腕木)の取付け 腕木の上下方向の間隔は、1.9m以下とする。	・手指を、挟む。 ・足場板が、天秤になる。 ・足場板を、落とす。	3	4	7	2	・手元の確認。 ・敷設後、すぐに、番線等で結束する。 ・手元の確認。	作業者 作業者  作業者	3	2	5	2	・建枠と布枠の隙間12cm未満
<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>													高さは、10cm以上とする。  ケット・安全ネットの取付けに設ける。  踏板の隙間は12cm以下とする。
	上段の踏板の取付け	・墜落	6	4	10	4	・墜落制止用器具使用	作業者	6	2	8	3	
	上段の先行手摺を取り付ける。	・墜落	10	2	12	4	・墜落制止用器具を使用	作業者	10	1	11	4	
	階段取付け ・直通階段は3スパン以下になるように設置する。	・端部からの墜落 ・部材の落下	3	4	7	2	・危険な箇所は墜落制止用器具使用	作業者	3	2	5	2	・階段に沿って、高さ90~100cmのところ到手すりを取り付け、さらに中さんを取り付ける。
	階段の手摺を取り付ける。		1	4	5	2		作業者	1	2	3	1	
	筋違の取付け ・支柱最下部クサビ受けより支柱最上部クサビ受けまで設置する。 ・取付箇所は、図面を確認し取り付ける。	・飛来落下	3	4	7	2	・二人一組を原則として作業し、下部作業者が上部作業者に手渡し組み立てる	作業者	3	2	5	2	・水平に対し角度45度の傾きで、全層全スパンに渡って連続して設ける。 ・大筋交いは、足場用鋼管を用い緊結部付支柱に緊結金具(クランプ)で緊結する。

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
4. 3段目以降の組立 (列数分並行して行う)	3. の ~ の作業を繰り返す	・端部から墜落 ・部材の落下	6	4	10	4	・墜落制止用器具使用 ・手渡しは確実にを行う。	作業員 作業員	6	2	8	3	・建地と踏板の間隙は 12cm 以下とする
5. 最上段を作業床とする	・最上層は床付き布枠を前面に敷く ・外周部に手すりを取り付ける ・外周部に幅木を取り付ける	・開口部からの墜落 ・部材の落下					・墜落制止用器具を使用する ・手渡しは確実にを行う	作業員 作業員	6	2	8	3	・足場板の間隙 3cm 以下 ・床材と建地との間隙は 12cm 未満
6. 大引き受け取付け	・クレーンで大引き受けを荷揚げする ・支柱上部に大引き受けジャッキを取り付ける	・吊り荷の落下 ・大引き受けジャッキの落下					・玉掛けを確実にを行う ・合図は正しく確実にを行う ・手渡しは確実にを行う。	作業員 作業員 作業員	6	2	8	3	
7. 大引き取付け	・クレーンで大引材を荷揚げする ・大引材を大引き受けジャッキに乗せる	・吊り荷の落下 ・大引きの落下					・玉掛けは有資格者が行う ・二人作業で行う	作業員 作業員	6	2	8	3	



大引き受け、大引き取付け

根太取付け

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
8. 壁つなぎ取付け (先行躯体がある場合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁つなぎは、水平方向 5.5m 以下、垂直方向 5.0m 以下の間隔で設ける。</li> <li>地上第一の壁つなぎは、地上より 5m 以下の位置に設ける。</li> <li>建物等の最上部には必ず設ける。</li> <li>壁つなぎの取付け位置は、支柱と布との交差附近の建地とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取込み中の墜落</li> <li>部材の落下</li> <li>工具の落下</li> </ul>	3	4	7	2		作業員	3	2	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁つなぎの建物側への取付けは、柱、梁等の堅固な箇所にできるだけ直角に取り付ける。</li> </ul> 
9. 壁当てジャッキ (先行躯体がある場合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>控材の取れない場合(狭小地)では、控え材にかえて壁あてジャッキを3スパン以内にごとに設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取込み中の墜落</li> <li>部材の落下</li> </ul>	1	4	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>踏板の各層に設置する。</li> </ul>	作業員	1	2	3	1	
10. メッシュシートを張る場合	<p>シート周囲を 35cm 以下の間隔で、隙間やたるみ等が生じないように足場に緊結する。</p> <p>シートの継合わせ部は、隙間が生じないように確実にとじ合わせる。</p> <p>(2) シートを取り付けた場合の点検</p> <p>緊結部の取付け状態について、1ヶ月以内ごとに点検する。</p> <p>大雪、大雨、強風等の後は、シート、水平支持材等の異常の有無について点検する。</p> <p>シートの近くで溶接作業が行われた場合は、溶接火花又は溶断片による損傷の有無について点検する。</p>												

<https://www.sekouya.com>

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
11. 組立後の点検確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>脚部の滑動防止、足場繋ぎ各所補強部分、各種養生等の点検・確認</li> <li>再度、ブレースの取付位置、クサビの打ち込み等、再確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動中の墜落、転倒</li> <li>工具の落下</li> </ul>	3	4	7	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>足元を確認しながら移動</li> <li>危険な箇所は墜落制止用器具使用</li> </ul>	作業主任者	3	2	5	2	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>足場の組立て、変更及び地震や悪天候の後には、作業主任者は、足場を点検する。</li> <li>異常を認めたときは直ちに補修する。</li> <li>点検に際しては、点検表を用いて行うようにし、点検結果は工事責任者に報告し、その記録を保存する。</li> <li>足場の注文者（元請）も点検する</li> </ul>							作業主任者					<p>足場の組立て完了後は、作業主任者が点検を行うとともに、元請の現場管理者等が足場の完成検査を行い、足場の安全性と作業性を確認する。</p> <p>地上の基礎周りから1層目、2層目と順次点検を行い、足場の揺れ、くさびの打ち込み不足等がないかを確認する。</p> <p>これらを確認後に、作業主任者名、積載荷重の標識を掲示し、自社の工事責任者責任者に足場設置の完了報告時には、足場組替え用部材の点検は良いか、持ち帰る部材の忘れかなどを確認する。</p>

緊結部付床付き布枠の許容荷重

<https://www.sekouya.com>

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
後片付け													
1. 余剰資材等の後片付け	・ 残材整理	・ 開口部等からの墜落	1	2	3	1	・ 危険箇所を確認 ・ 開口部の手摺は元通りにしてある。	作業者 作業者	1	2	3	1	
	・ 仮設資材の整理 ・ 使用工具類の片付け	・ 足場上の資機材の落下					・ 小物は布袋等にまとめる。	作業者					
2. 作業終了	・ 事務所に異常がないことを報告する。	・ つまずき転倒	1	4	5	2	・ 片付け、掃除完了 ・ 火の元確認。	職長	1	2	3	1	
<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>													
使用前の点検	・ 足場の注文者(元請)は、足場を使用する前に点検しなくてはならない。	・ 足場の不備で墜落	3	4	7	2	・ 点検を行い、記録し保管する。	元請担当者	3	2	5	2	